

# 校名：大分大学教育学部附属中学校

所在地：〒870-0819 大分市王子新町1-1

電話番号：097-543-6731

記載日： 28年 5月 19日 記載者：渡邊 文也 記載者役職：校長

## 貴校の校風、おおまかな特色について：

本校には校訓はないが、「高い学力、深い愛の心、耐え忍ぶ力」が本校生徒に求める力として、教育目標の中で謳われてきた。これは、受験学力だけでなく豊かな人間性の育成を基盤として、これからの時代を主体的に生きていくための資質・能力を育み、県下はもとより日本のリーダーとなるグローバルな人材の育成を目指す本校運営の底流として、今も脈々と流れている。

また、これまで培われてきた伝統は大切にしつつも、「前例踏襲は退歩である」をモットーに常に新たな取組に挑戦している。近年は「附属刷新プラン」を作成し、県教育委員会との連携をより強めて、地域の教育課題を解決する先進的・先導的モデル校として情報発信すべく、校内組織、研究等を刷新している。

## 貴校の卒業生の活躍状況について：

- ① 追跡調査：実施していない
- ③ 状況：追跡調査を実施したいと考えているが、情報管理が年々厳しくなっており実施できていない。周年記念時等に同窓会名簿作成を行う中で、不完全であるが把握できている。

## 貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

- ① 追跡調査：していない
- ③ 状況：県との交流による人事のため、ほぼ全員が公立中学校に戻っていく。最近では県立中学校への異動も増えており、本校で培った授業力をいかに発揮している。また、県教委や県教育センター指導主事への登用も多い。

## 魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

大分大学教育学部附属学校園は、地域の教育委員会等との連携を強化し、地域教育に貢献するモデル校として歩むべく方向性を明確にした。それに伴って以下のような取組を行っている。

### (1) 教育研究について

- ・ 旧来の独自の研究から、国や県が求める研究に転換
- ・ 「大分県教育課程研究協議会」に一発表校として参加し、県のテーマに基づいた先導的な研究成果を発表
- ・ 公開研究発表会は取りやめ、同協議会の実践協議の場として参加者を絞った「教科研究発表会」を開催
- ・ 小学校との連携を積極的に取り入れ、教員がお互いに授業を観察したり、児童が中学校の授業に参加（右写真）



## (2) 人材育成(教員)について

- 学校の経営方針の中に、県教委との連携を明確に打ち出した
- 県教委人材育成方針の中に、育成の一方策として附属学校での勤務が位置付けられた
- 県教委「子どもの力と意欲の向上に向けた芯の通った組織的な取組」の具現化を図り、個業の集団から「組織の一員である」という意識への変革を促すため、校内職員組織の見直しや6期制による学校経営の実施
- 適正な教育課程の運用と授業づくりを協働的に行う同僚性の醸成のための「タテ持ち」方式による授業分担
- 「校内運用規定」「決済規定」を作成し、適切な勤務スタイルを徹底

## (3) グローバル人材育成について

- 「大分県グローバル人材育成方針」に基づく5つの力の総合力の育成を図る
- 具体的には、附属小・中が連携した「外国語教育連絡会議」「総合的な学習の時間連絡会議」を開催し、9年間の系統的なカリキュラム作成や成果発表及びセミナー開催
- 生徒と共に創る授業を目指しながら、生徒の学習マネジメント能力を育成

## 地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

附属刷新プランを策定し、これまでの研究スタイルや学校運営、県教育課程研究協議会で県内各市町村と同じようにレポート発表を行い、課題を共有している。そのため、公立中学校教員との交流や生徒同士の交流も行われるようになり、「附属が身近になった」との意見も同ようになった。

また、公立学校教員の初任者や10年経験者、学力向上推進教員などの研修の場として積極的に活用されており、現職教員の資質・能力向上の場となっている。

## 附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

附属学校としての使命を基盤として、県教育委員会の各種方針の具現化を図る

### (1) 県教育委員会と連携した、中学校現場における授業改善の組織的取組の推進モデル

- 「新大分スタンダード」を基にした「附中授業改善スタンダード」の実践
- 「質の高い深い学び」を実現する校内研究の推進及び教科授業発表会の開催
- 小・中学校が連携しての「外国語教育」「総合的な学習の時間」の授業公開、授業セミナーの実施

### (2) 教職員の人材育成

- 将来の大分県を背負って立つリーダーやミドルリーダーの輩出

### (3) 教育実習の高度化

- 国や県の求める教師像を念頭に、授業力だけに偏らない総合的な教師力育成のための実習カリキュラム作成
- 実習生につけたい力を明確にした評価項目及び評価基準・規準を、他校園と協働して作成

### (4) 大学、附属学校、地域を結ぶセンター的な役割の創出

- 公立学校の求める研究内容に関する資料提供や講師派遣のため、大学や先進的研究校等の情報センター的な機能の創出へ